

広島特別支援学校校舎増築工事に伴う基本・実施設計業務に係る簡易公募型プロポーザル設計の候補者の選定結果について

1 特定結果

広島特別支援学校校舎増築工事に伴う基本・実施設計業務に係る簡易公募型プロポーザルにおいて、事前に公表した審査基準に基づき、設計者選定審査委員会で特定が行われました。

審査委員会における参加表明書の審査（一次審査）及び技術提案書の審査（二次審査）の総合的な評価の結果、第一位特定者に佐藤総合計画・あい設計設計共同体が特定されました。

特定結果は、次の表のとおりです。

特定結果一覧表

参加表明書評価点 (一次審査)	技術提案書評価点 (二次審査)	総合評価点	順位
30.00	56.57	86.57	第一位特定者
28.80	47.43	76.23	第二位特定者
26.24	44.28	70.52	第三位特定者

【参加表明書提出者 3設計共同体 順不同】

梓・村田相互設計共同体

浦辺設計・仲子盛進総合環境デザイン設計共同体

佐藤総合計画・あい設計設計共同体

2 特定理由

【総評】

本件は、特別支援学校の児童生徒数増に伴う教室不足の解消と、一般就労を目指す生徒が増加していることを踏まえ、より一層の職業教育の充実を目的とした増築校舎を建設するため技術提案を求めたものです。

参加表明書の審査（一次審査）に当たっては、参加表明者（設計共同体）の技術力、技術者の資格及び技術力について過去の業務実績、技術者の分野ごとの取得資格や経験年数をもとに評価を行いました。

技術提案書の審査（二次審査）に当たっては、本市が提示した業務の理解度や取組の意欲、業務の実施方針及び特定テーマとして設定した、「(テーマ1)知的障害のある生徒が学習意欲、就労意欲を高めることができる施設づくり」、「(テーマ2)立ち寄りやすさとセキュリティの確保が両立された施設づくり」について、技術提案書の記載内容やヒアリングをもとに、提案の的確性、独創性、実現性などを基準として、評価を行いました。

いずれの提案も、それぞれのテーマを踏まえた特徴的な空間づくりが示されていましたが、より細部まで検討され説得力のある意欲的な提案が第一位に特定されました。

【第一位特定者】

第一位特定者の技術提案は、「日常のまなび、地域とのつながりなど全てが内包された一体空間の特別支援学校」として、将来の増床への対応についても工夫を示しながら、コンパクトなI型校舎とした提案でした。

テーマ1に関しては、全普通教室を日当たりが良く瀬戸内海を眺望できる南東(グラウンド)側に、産業教育施設を北西(出島・宇品地域)側に、特別教室を最上階にゾーニングしており、

シンプルではあるが、ロケーションを生かして視覚的、空間的に学習意欲、就労意欲を高める提案となっており、他の提案と比較してより快適な学習環境の確保に配慮されていました。また、実社会での就労環境を考慮した適度の施設整備を行う提案であり、対象としている軽度及び中等度の知的障害のある高等部生徒の特性を的確に理解した提案であり高く評価されました。

テーマ2に関しては、出島・宇品地域から立ち寄りやすい北西側に一般開放ゾーンと地域の交流スペースとなる「エントランスひろば」及び「土間ひろば」を配置し、地域の特性を考慮した提案でした。この「土間ひろば」を起点に喫茶実習室等の一般開放ゾーン、事務室、エントランスホールが配置され、目視管理を可能とする見通しのよい計画であり、一般開放ゾーンとその他のゾーンの管理区画が動線計画により明快に区分されているなど、立ち寄りやすさとセキュリティの確保を両立させた提案でした。この「エントランスひろば」や「土間ひろば」については、ソフト面においても様々な活用方法が期待できる空間となっており、さらに屋内運動場については地域への開放時のセキュリティも考慮の上で単独利用可能な動線計画が示されているなど、立ち寄りやすさという面で基本計画から一步進んだ独創性のある意欲的な提案であったことも高く評価されました。

その他の面では、建設費について独自にシミュレーションを行いコスト削減の効果を検証していることや他事例を綿密に調査して現場のニーズや課題を把握していることがうかがわれ、高い取組意欲が感じられました。

なお、地下処理槽と干渉せずに配置可能と提案された校舎の形状及び配置等に関して、再度入念に検討が必要であるとの意見がありました。

3 広島特別支援学校校舎増築工事に伴う基本・実施設計業務に係る設計者選定審査委員会

本委員会は、広島特別支援学校校舎増築工事に伴う基本・実施設計業務の設計者の選定をプロポーザル方式により行うため、平成30年8月30日に設置された委員会です。

技術提案者の特定は、下記の手順で行いました。

なお、第3回審査委員会で実施したヒアリング等にあたり、事前に広島工業大学名誉教授の森保洋之氏及び広島大学准教授の竹林地毅氏から助言や見解をいただき、各委員の審議の参考とさせていただきます。

技術提案者の特定手順

平成30年9月6日	第1回審査委員会の開催 公示、審査基準、説明書の内容等の審議・決定
平成30年9月13日	公示
平成30年9月14日 ～9月26日	参加表明者の募集・受付（3設計共同体）
平成30年10月4日	第2回審査委員会の開催（第一次選考）、技術提案書提出者の選定（3設計共同体）
平成30年10月5日 ～10月26日	技術提案書の提出要請・受付（3設計共同体）
平成30年11月14日	第3回審査委員会の開催（第二次選考） 技術提案書及びヒアリングによる審査、技術提案書の特定及び技術提案者の特定

4 選定結果

設計者選定審査委員会での特定結果を踏まえ、本市として第一位特定者を「広島特別支援学校校舎増築工事に伴う基本・実施設計業務」の設計の候補者として選定しました。